

平成 31 年度

港北区内で行われる主な整備事業



平成 31 年 4 月 港北区役所

# 目 次

## ■ 鉄道・道路・橋りょう

1	神奈川東部方面線の整備	1
2	都市計画道路の整備	2
	(1) 綱島街道の拡幅	
	(2) 宮内新横浜線（新吉田高田地区）	
	(3) 宮内新横浜線（新吉田地区）	
3	地域道路の整備（歩道拡幅・道路改良）	2
4	橋りょうの地震対策	2
5	歩道橋の老朽化対策（菊名歩道橋の撤去）	2
◇	道路位置図：都市計画道路	3
	：地域道路	4

## ■ まちづくり

1	新横浜都心部のまちづくり	5
2	新横浜駅南部地区のまちづくり	5
3	綱島駅東口周辺地区のまちづくり	6
4	箕輪小学校の整備	6
5	篠原城址の環境整備	6

## ■ 上下水道の整備

1	下水道の整備	7
	(1) 下水道管の整備・雨水幹線の整備	
	(2) 水再生センター等の整備	
	(3) 未整備地域の解消	
2	上水道の老朽管更新・耐震化	7

## ■ みどり・環境

1	花と緑による魅力の創出	8
2	公園の整備	8
3	公園の改良等	8
4	緑地等の保全（緑地保存地区、源流の森保存地区、市民の森、特別緑地保全地区）	8
5	スマートシティの構築	8

## ■ 施設

1	横浜国際総合競技場の整備	9
2	文化施設整備事業	9
3	地域施設の整備	9
4	特定天井の脱落防止対策	9
5	スポーツセンター等の空調機導入	9

## ■ 鉄道・道路・橋りょう

### 1 神奈川東部方面線の整備

神奈川東部方面線のうち「相鉄・JR直通線」(西谷駅～羽沢横浜国大駅間)は、平成31年11月30日の開業に向けて、横浜羽沢貨物駅構内での線路切替工事を行うとともに、開業準備を進めます。

また、「相鉄・東急直通線」(羽沢横浜国大駅～日吉駅間)は、平成34年度下期の開業に向けて、新綱島駅(仮称)から日吉及び新横浜駅(仮称)方面に向けてそれぞれトンネル掘削工事を開始しており、全区間で土木工事を進めます。

神奈川東部方面線の路線概要図



神奈川東部方面線路線図

#### 神奈川東部方面線

整備延長：約12.7km  
事業費：約4,022億円  
整備主体：(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構

#### 西谷～羽沢横浜国大間(相鉄・JR直通線)

整備延長：約2.7km  
開業予定日：平成31年11月30日  
営業主体：相模鉄道(株)

#### 羽沢横浜国大～日吉間(相鉄・東急直通線)

整備延長：約10.0km  
開業予定時期：平成34年度下期  
営業主体：相模鉄道(株)、東京急行電鉄(株)

## 2 都市計画道路の整備 (P. 3 道路位置図)

### (1) 綱島街道の拡幅

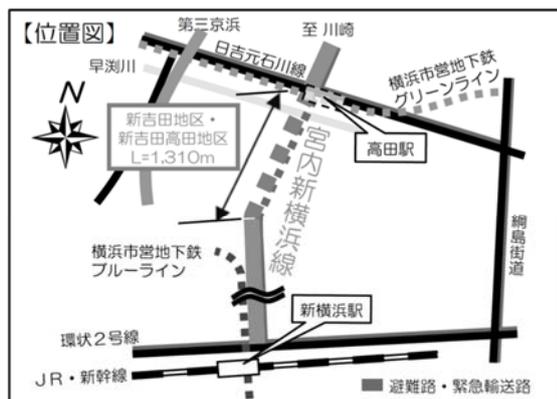
神奈川東部方面線新綱島駅(仮称)の整備の状況等を踏まえ、綱島駅から北綱島交差点までの区間について、昨年度から拡幅事業に着手しています。今年度も引き続き測量及び設計作業を進めます。

### (2) 宮内新横浜線(新吉田高田地区)

新吉田地区から日吉元石川線までの区間のうち、昨年度は本線下を横断するトンネル築造工事、橋梁アプローチ部の地盤改良工事を進め、早淵川にかかる橋梁の架設が完了しました。今年度も引き続き供用開始に向けて、工事を進めます。

### (3) 宮内新横浜線(新吉田地区)

すでに完成している新羽新吉田地区から新吉田線との合流地点付近までの区間について、昨年度は用地の取得、設計、測量及び関係機関協議を進めました。今年度も引き続き用地の取得、関係機関協議及び工事を進めます。



早淵川に架かる橋梁架設後の状況

## 3 地域道路の整備(歩道拡幅・道路改良)(P. 4 道路位置図)

川向第39号線(大竹道路)について、引き続き用地取得した箇所において設計及び拡幅工事を進め、市道箕輪159・161号線については、道路等の測量作業を進めました。

また、横浜生田線、綱島第243号線、新吉田第441号線、下田第97号線、綱島第295号線については、引き続き測量、用地取得等交渉を行い、改良事業を進めます。

## 4 橋りょうの地震対策

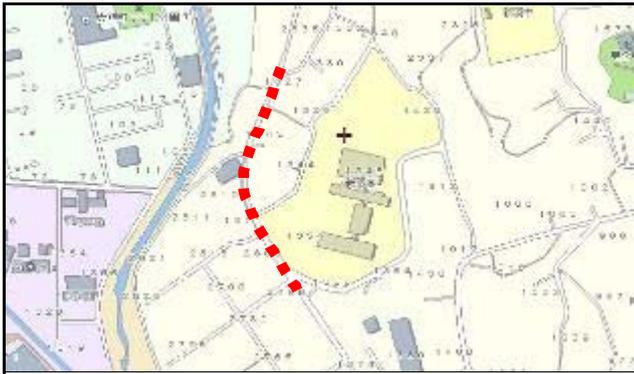
緊急輸送路にある橋で、倒壊や甚大な被害を防止する対策を進めています。熊本地震時に被害が生じた構造と同様の形式の新横浜陸橋から優先的に実施します。また、樽綱橋、樽綱歩道橋についても引き続き耐震補強等の地震対策を進めます。

## 5 歩道橋の老朽化対策(菊名歩道橋の撤去)

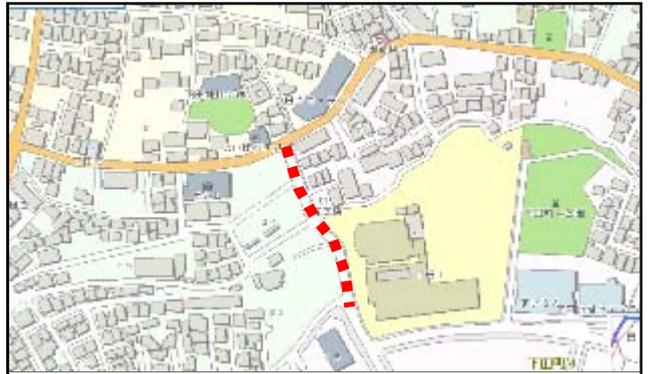
菊名歩道橋については、多くの方が横断歩道を利用していることから、歩道橋の撤去を行い、安全な交差点となるよう検討を進めます。今年度は、関係機関との調整を行います。



### 3 地域道路の位置図



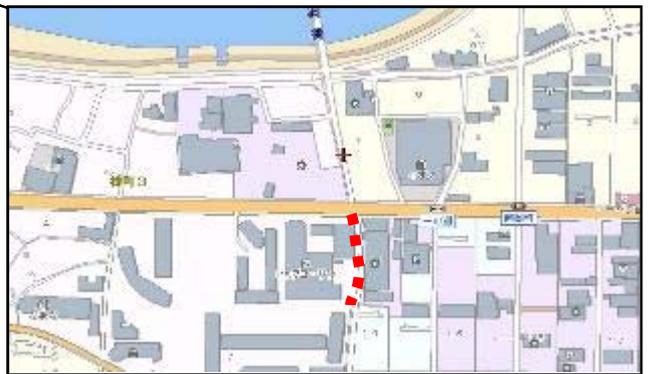
川向第39号線(大竹道路)



下田第97号線(下田小西側)



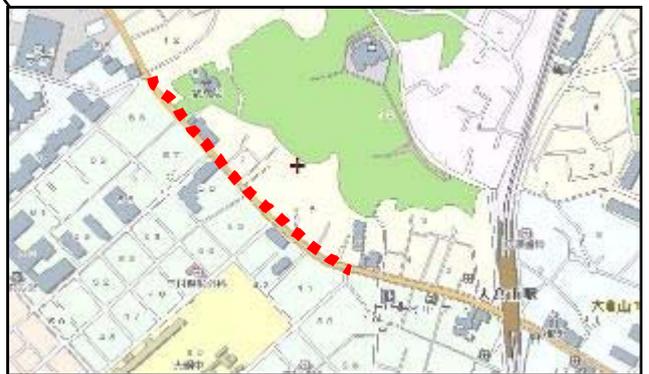
箕輪159・161号線(日大高校入口交差点付近)



綱島第243号線(ビッグヨーサン東側)



横浜生田線(新羽町南台町バス停付近)



新吉田第441号線(エルム通り、オリーブ通り)

## ■ まちづくり

### 1 新横浜都心部のまちづくり

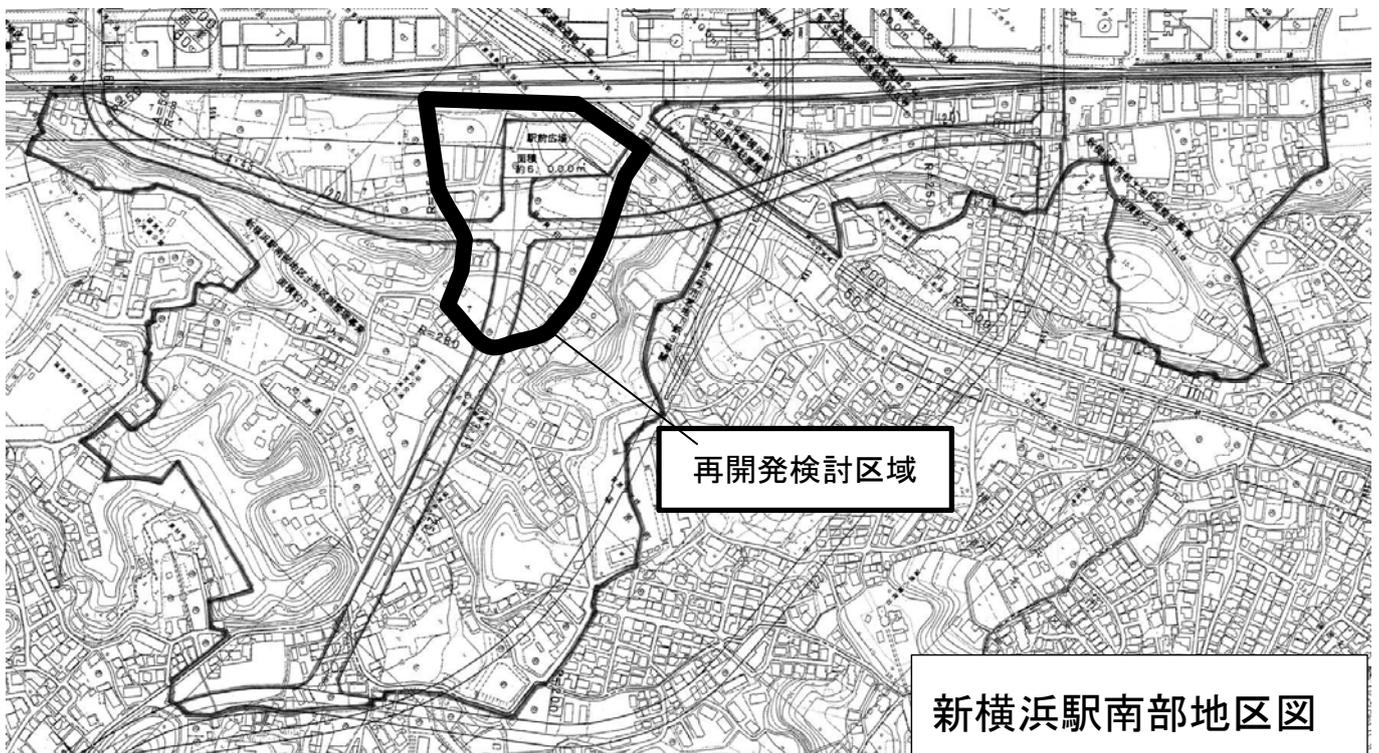
世界的なイベント開催、高速道路や新たな鉄道の開通など、大きな動きがある新横浜都心部（新横浜地区、新羽地区、城郷地区、羽沢地区）の今後のさらなる発展に向けたまちづくりの方向性や方策を示していきます。

今年度は、新横浜駅周辺の利便性向上など、都心機能強化の方策を検討します。また、世界的な大規模スポーツ大会が開催されることを踏まえ、市の公募で決定した民間事業者により、新横浜駅前周辺等で一部に無料Wi-Fiを備えた広告付き案内サインの整備が進められるほか、地域の皆様と協働で、競技場ルート環境整備を行います。

### 2 新横浜駅南部地区のまちづくり

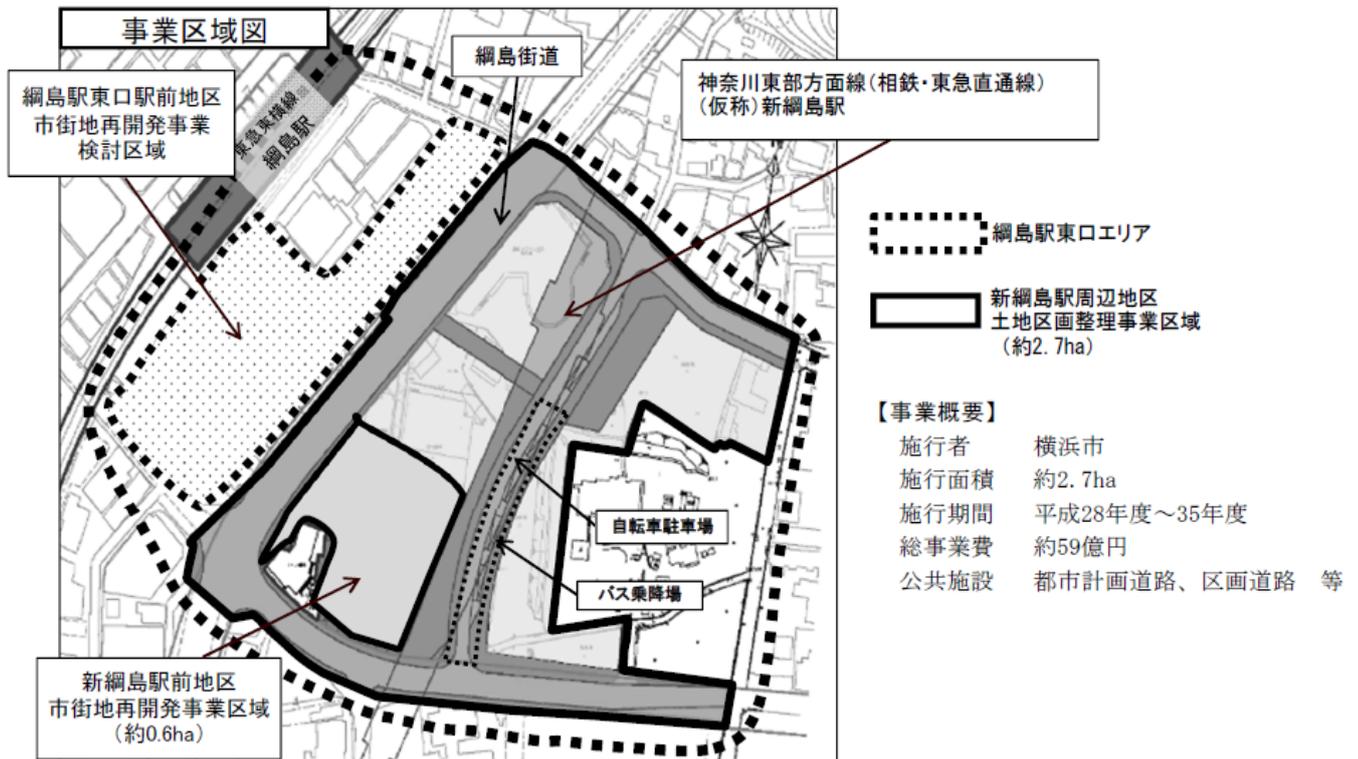
新横浜駅南部地区では、土地区画整理事業を廃止して以降、地域の合意形成を重視して新たなまちづくり計画検討を進めています。

横浜線新横浜駅篠原口の直近では、平成30年3月に約3.5ヘクタールを対象とした市街地再開発準備組合が設立されており、準備組合を支援していきます。再開発検討区域以外でも都市計画道路の見直し等、まちづくり計画検討を進めます。



### 3 網島駅東口周辺地区のまちづくり

相鉄・東急直通線の新網島駅（仮称）整備にあわせ「土地区画整理事業」と「市街地再開発事業」によるまちづくりを一体的に推進しています。土地区画整理事業により、バス乗降場や網島街道等の都市計画道路を整備します。昨年度は、用地取得のほか市街地再開発事業の組合設立認可手続を行うとともに、再開発ビルの実施設計に着手しました。今年度も、用地取得を行うとともに、自転車駐車場の設計や網島街道北側拡幅の調査に着手し、市街地再開発事業はビルの着工に向けて権利変換計画の作成を行います。また、網島駅東口駅前地区の市街地再開発事業の都市計画決定に向けた検討を進めるとともに、事業化への支援を行います。



### 4 箕輪小学校の整備

日吉・網島地区では、新たな産業の進出や工業地からマンションなどの住宅地への転換が進んでいます。住宅開発等に伴い、網島東小学校や日吉台小学校などの教室数が不足して児童の受け入れができなくなることから、小学校の新設を進めています。

平成32年4月に新設校を開校するため、今年度も引き続き、建築工事を進めるとともに、開校に向けた準備を進めます。

### 5 篠原城址の環境整備

歴史的な地域資源である篠原城址緑地を適切に維持管理し、区の魅力発信につなげるため、倒木等の危険性の高い樹木の剪定及び、城址緑地周辺のフェンスの再整備等を行います。

## ■ 上下水道の整備

### 1 下水道の整備

#### (1) 下水道管の整備・雨水幹線の整備

浸水被害を受けた地区を優先して、時間降雨量約 50mm に対応する整備を基本とし、人口や資産が集中する地盤の低い区域については、時間降雨量約 60mm に対応する雨水幹線等の整備を進めています。

#### (2) 水再生センター等の整備

港北水再生センターにおいて、耐用年数を超えて老朽化した覆蓋（水処理施設を覆う上屋）と処理施設の防食の更新を進めます。



▲港北水再生センターと鶴見川(航空写真)

#### (3) 未整備地域の解消

今年度には大規模未整備地区であった港北区篠原地区の污水整備が完了し、下水道普及率は概成100%となります。一部に残る整備が困難な地域については、土地の利用状況等をふまえて整備していきます。また、下水道が整備された地域で、下水道を利用していない家屋については、戸別に相談員が訪問し助成制度の紹介など、下水道の利用促進に向けた取り組みを進めていきます。

### 2 上水道の老朽管更新・耐震化

昭和 40 年代に布設し、更新時期を迎えているこれらの管路を中心に、老朽化した配水管を計画的に耐震管に更新するとともに、新たな管網を整備します。

また、災害時に重要となる拠点施設につながる管路や腐食性土壌※に埋設されている管路については、優先的に更新し、効果的な耐震化や漏水事故の予防保全を図ります。

※腐食性土壌

100 万年前に海だった地層で、腐食性の強い粘土質の土壌



**1 花と緑による魅力の創出**

新横浜駅周辺において、植樹帯花壇の整備やコンテナ花壇の設置など、季節の花や緑により街路空間等を彩ります。



**2 公園の整備**

新羽丘陵公園の拡張に向け、公園東側の園路整備の準備工事及び、太尾見晴らしの丘公園拡部の整備工事を行います。

**3 公園の改良等**

新横浜駅前公園ほか6公園で園路などの改修工事を行います。

**4 緑地の保全（緑地保存地区、源流の森保存地区、市民の森、特別緑地保全地区）★**

緑地の保全に向けて緑地保全制度による指定拡大を進めます。また、特別緑地保全地区等の指定・買取りに伴う測量、買い取った緑地の管理に必要な施設整備や、大曾根台特別緑地保全地区の整備工事を行います。

**5 スマートシティの構築**

横浜市では、地域防災拠点に指定されている市内の小中学校を対象に、電力会社が蓄電池を設置し、平常時には電力の需給バランス調整に活用し、災害時には地域防災拠点の災害用電力として利用する、「バーチャルパワープラント（VPP：仮想発電所）構築事業」を平成29年度から進めています。今年度は、大規模災害時における区災害対策本部機能維持のため、区庁舎へ蓄電池設備を設置します。

## ■ 施設

---

### 1 横浜国際総合競技場の整備

横浜国際総合競技場（日産スタジアム）では、大規模大会の開催に向けて、照明設備のLED化による省電力化や、フィールドの天然芝と補強材によるハイブリッド芝への張替え、観客席やトイレの改修、エレベーターの更新など、安全性や機能の向上を図るための整備を進めています。

### 2 文化施設整備事業

区民の皆様が身近に文化芸術に接し、個性豊かな文化芸術活動を活発に行うことができる環境整備のため、身近な拠点となる区民文化センターを新綱島駅（仮称）周辺地区における市街地再開発事業の中で整備します。今年度は、昨年度に引き続き、内装の実施設計を行います。

### 3 地域施設の整備

市民が安心・快適に市民利用施設等を利用できるよう、今年度は、日吉地区センターのエレベーター設置工事を行います。

### 4 特定天井の落下防止対策

大規模空間を有する既存建築物の天井の脱落対策を行います。今年度は港北公会堂の実施設計を行います。

### 5 スポーツセンター等の空調機導入

昨今の夏の暑さ対策として、体育室に空調機を設置するため、港北スポーツセンターでは基本設計を、綱島地区センターでは実施設計を行います。

発行：港北区役所 区政推進課 企画調整係

電話：540-2230 FAX:540-2209